

定例市長記者会見録

日 時：11月24日(火) 午後1時30分～2時

場 所：本庁舎6階特別会議室

出席者：一宮市 中野市長、福井副市長

報道機関 中日新聞、読売新聞、朝日新聞、毎日新聞

(市長)

本日の案件は3つです。その後、12月補正予算(案)について、概略を説明します。

1番目は「男性職員の育児休業等の取得を促進」です。コロナ禍で、出生数が減少しています。少子化は国難と言えるので対策が必要です。本市では、男性職員による1カ月以上の育児休業等の取得を目標とし、令和3年度中には取得率を100%にする取り組みです。取得目標の内容は、出産養育休暇、出産介護休暇、育児休業の合計で1カ月以上の休暇取得とし、男性職員に強く働き掛けます。本市のこれまでの男性職員による育児休業取得割合は約1割ですので、職場環境の整備が必要になります。休業期間中の職員の仕事の分担について、職場全体で考える必要がありますので、事前に上司と相談し、職場全体で育休取得を応援できる環境を作っていく予定です。これまでは、職員が抜けた穴を会計年度任用職員で補充していましたが、男性・女性職員を問わず、正規職員の配置も検討していきます。

2番目は「いちのみや市100周年シンポジウムを実施」です。本市は来年9月1日に市制施行100周年を迎えますが、次の100年を考えたときの教育の重要性から、東進ハイスクール、東進衛星予備校現代文講師の林修先生をお招きし、来年1月24日に、一宮市民会館にて『教え「育つ」教育を考える』をテーマに講演していただきます。会場での密を避けるため、収容可能人数1,500人の半分の750人を定員とします。12月から応募受け付けを開始します。

3番目は「仕事納め式・仕事始め式は中止し、市長メッセージを庁内配信」です。従来のやり方では仕事納め式を12月28日に、仕事始め式を1月4日に行っていましたが、年末年始の休暇分散を目指し、式を実施しないことにしました。代わりに、私からのメッセージ動画を庁内向けに配信し、職員が視聴できるよう準備を進めます。

次に、令和2年度12月補正予算(案)に計上された主な事業です。

No.1 「新型コロナウイルス感染症に関する誹謗中傷を受けた方への支援」

現時点で、市内での深刻な事例を把握しているわけではありませんが、抑止効果も目的としています。

No.2 「窓口手数料等キャッシュレス決済拡大事業」

4年前に始めた交通系電子マネーに加え、QRコードやクレジットカードといったキャッシュレス決済手段を増やし、対応する窓口の数も増やします。

No.3 「本庁舎等業務環境改善事業」

混雑防止のための飛沫防止ボード等の購入のほか、中核市移行後にフリーアドレスを試行導入するための備品を購入します。

No.4 「クラスターが発生した事業者への支援」

クラスター再発防止のため、事業者が行うリフォームの費用等を支援します。

No.5 「避難所における感染症対策」

避難所との正確な情報共有のため、Wi-Fi 機器と端末を購入します。また、車で避難する場合に、138 タワーパークへ多数の避難者が発生することを想定し、マンホールトイレ用の資機材を購入します。

No.6 「本庁舎1階待合スペースにおける3密対策」

番号発券機の呼び出し番号と待ち人数をウェブサイト上に表示するシステムを導入します。

No.7 「介護施設への新規入所者に対するPCR検査料の助成」

一定規模の介護施設へ新しく入る方で、希望される方はPCR検査を受けられるように、一宮市立市民病院で実施するPCR検査の検査料を助成します。

No.8 「医療法人に対する経営維持資金の貸付け」

県が行う貸付け制度の貸付額と同額を、当該医療法人が所在する市町村が負担し貸付けます。

No.9 「キャッシュレス決済による消費喚起及び感染症対策」

スマホ等でキャッシュレス決済を行った方に1割、最大5,000円分のポイントを付与します。

No.10 「3密対策リフォーム等補助金 事業費の増額」

6月と9月補正で計上した同補助金につき、非常に好評をいただいていますので、来年2月まで延長し、事業所の3密対策を応援します。

No.11 「教職員オンライン研修環境整備事業」

GIGA スクール構想など、文部科学省が進める事業につき、先生方が密を避けて研修を受けられるようにします。

次に、単行議案につきましては、来年4月の中核市移行を見据え、条例を多数改正します。県のサービスを市が引き継ぐことで質の低下を招くことがないよう、厳格に移行を行います。それに加え、「空き地の不良状態の解消に関する条例」、「産業廃棄物処理施設の設置に係る紛争の予防及び調整に関する条例」といった、本市独自の内容にもチャレンジします。

以上、本日の説明でございます。

質疑応答の概要

■仕事納め式・仕事始め式は中止し、市長メッセージを庁内配信

(記者) 仕事納め式の配信を 25 日にしたのは、職員に 28 日を休みやすくして、休暇を分散させるのが狙いなのですか？

(市長) そうです。現在、業務の状況により可能であれば 28 日はできるだけ休み、休暇を分散させるように、呼びかけも始めています。

■新型コロナウイルス感染症に関する誹謗中傷を受けた方への支援

(記者) 誹謗中傷を受けた方への弁護士への相談業務について、他の自治体では行っていますか？

(担当) 確認できる範囲では、愛知県内では、行っていません。近隣では、岐阜県飛騨市が行っています。

(記者) 現在、市の行っている相談窓口で誹謗中傷を受けているといった、相談はありますか？

(市長) 深刻な状況になっている案件は、把握していません。一宮市は、誹謗中傷に対して厳しい、泣き寝入りしない姿勢を見せることでの予防効果も期待しています。

(記者) この事業は、弁護士会のメニューにあるのですか、それとも市から依頼したものですか？

(担当) 市から弁護士会に依頼し、承諾していただきました。

(記者) コロナに関連して 11/20 に最大の 19 名の感染者が出ましたが、市として新たな対策はお考えでしょうか？

(市長) 日ごとの感染者数を注目しがちですが、マクロで見ると、この 2~3 カ月では、一宮市の感染者数の水準は減っています。市民の皆さまの努力で、人口 10 万人あたりの感染者数は愛知県 38 市中、19、20 番目と少なくなっていました。日ごとの感染者数のみで一喜一憂せず、中長期的にも状況を見ていきたいと思えます。

■窓口手数料等キャッシュレス決済拡大事業

(記者) 他市町村の状況はどうですか？

(担当) 確認できた範囲では、豊田市が QR コード、クレジットカード、電子マネーでの決済が可能であると聞いています。

(市長) 決済種類の数と、対応窓口の数は、愛知県下で最大です。

■介護保険施設への新規入所者に対する PCR 検査料の助成

(記者) 他の自治体でも行っていますか？

(市長) 兵庫県明石市が行っていると聞いています。また、厚生労働省でも、高齢者が集まる介護施設や医療施設などについては、できるだけ PCR 検査がスムーズに受けられるように、国全体で取り組んでいると聞いています。

■ 中学生自死事案に関する裁判所からの和解案について

(記者) 中学生の自死に関する裁判で、裁判所から 12 日に原告側の主張を全面的に受けられる和解案が示されましたが、市はどのようにお考えですか？

(市長) 平成 29 年に悲しい事故が起きました。そのおよそ半年後に、第 3 者委員会に議論・検討していただいて受けた報告書の内容と、今回の和解案との違いを丁寧に照らし合わせています。現時点では、報告書と和解案との間に、少し距離がある印象を持っています。今月 12 日に和解案が示されましたが、簡単に結論が出せる問題ではありません。弁護士に意見をもらいながら、我々としてどうしていくか、時間をいただいて検討している段階です。